

保護者の皆様へ 附属特別支援学校長だより

NO. 8 保護者向け
令和元年12月20日
発行：附属特別支援学校
校長 須田 正信

令和元年二学期「終業式」 冬休みに入ります 元気に過ごしましょう！



■二学期終業式前に校歌を歌いました。各学部代表者に二学期頑張ったことを校長から発表しました。

今年も残すところわずかとなりまして。二十日に二学期終業式を終え、冬休みに入りますが風邪など引かずに元気に過ごしてください。今年が令和元年という節目の年でしたが、次年度もよい年になるよう祈念しています。

二学期を振り返ると多くの行事がありました。その中で、子どもたちも様々な経験の中で成長したものと確信しています。終業式では、各学部の代表者に頑張ったことやその様子を発表しました。どの学部でも「文化祭」が印象的だったようです。みんなの前で演じたこと、発表したこと、セリフを覚えたことなどが頑張ったことを表していました。三学期も、元気に登校してくれることを願っています。

■大阪府立支援学校の「フレンドリーサッカー」に参加しました。



ユニフォームをそろえてイザ！
しっかりゴールを目指してね



相手チームに競り勝ちました。



亥年から子年へ
十二支が一回りです。
来年もよい年でありますようにお祈りします。

■学校では、特別支援教育コーディネーターを中心に、附属や地域の学校等に「相談・支援」を展開しています。その活動を示す意味でも「名標看板」を設置しました。以前のPTA代表者委員会で説明したリーフレットにもあるように、「相談と支援」を中心に、特別支援学校に課せられている「センター的機能の発揮」を展開していきたいと考えています。



「大阪教育大学附属特別支援学校相談・支援センター」の看板を正門前に設置しました

中学部の交流および共同学習



■本校中学部生徒と附属平野中学生徒とお互いに自己紹介して交流を深めました。

中学部は、十二月二日に、附属平野中学校の一年生と「交流及び共同学習」を行いました。交流及び共同学習とは、共に学ぶ環境を求めていく方策として障害理解を求め、お互いに触れ合い、理解することを大事に進めています。

文部科学省は、インクルーシブ教育システムの構築には「共に学ぶ環境の醸成が必要」との判断をしています。学習指導要領においても「交流及び共同学習」を通しての実践が期待されている所です。



フェンス工事後、ガラや小石を除く作業学習



■高等部は社会貢献活動として「地域清掃」に取り組んでいます。今回もゴミ袋を持参して地域貢献ができればと思います。

高等部の実践



■高等部の作業「校内園芸」の実践

小学部の実践 どろんこPT・お楽しみ会



大学美術教育講座の先生と学生も加わって「どろんこPT」を研究しています。



■サンタさんからのプレゼント楽しみだな。

小学部は、年末恒例の「お楽しみ会」がありました。楽しいサンタさんとトナカイさんが登場して皆にプレゼントしてくれました。

本校と大学の連携研究として「どろんこPT」があります。粘土遊びによる手指の巧緻性向上をめざす取り組みです。今回は講座の先生方・学生と一緒に取り組みました。

■児童虐待相談対応件数の推移

年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度
件数	88,931	88,931	103,286	122,575	133,778
前年度比	110.6%	120.5%	116.1%	118.7%	109.1%

■心理的な虐待に係る相談対応件数の増加（平成 29 年度は 72,197 件 +9,011 件）

■警察等からの通告の増加（平成 29 年度は 66,055 件 +11,243 件）

十二月十日に、大阪府教育庁支援教育課主任指導主事の奥井先生をお招きして「校内人権研修」を開催しました。障がいのある子どもの人権と題して講演をいただきました。子どもへの権利条約から子どもへの虐待事案を例に取り上げていただき、早期の対応や通告の義務など重要な視点を再確認しました。

教職員向けに人権研修を実施しました